

Q

ハラスメントの理解と防止の周知徹底がされているか

A

防止に関する規程や指針を定め、職員に周知している



おみ みつ 鈴木 すすき



映像はこちらから

Q パワハラなどで心身を病み体調を崩しての病休や退職をなくすため「ハラスメント防止対策」を強める

A 「ハラスメント防止等に関する規程」や「ハラスメント防止の指針」を作成し、課長級以上を対象に「ハラスメント防止研修」を実施し、ハラスメントに対する正しい知識と予防のためのコミュニケーション方法を学んでいる。

――非正規職員の待遇改善が必要ではないか――

Q 非正規職員の賃金の引き上げや待遇の改善が必要ではないか。

A 法律の改正により「会計年度任用職員」となったが、予算の成立で設置される。任期は最長1年間。市の仕事は、高度化・複雑化しているが、人口減少などによる税収減で、正規職員の増員は難しい。「期末手当」支給で待遇も向上したが、適正な処

遇について引き続き検討する。

――相続放棄の空き家の管理責任は――

Q 相続放棄による空き家の管理責任の周知はどうか。

A 昨年度の実態調査で把握した1350軒の空き家のうち26軒の相続放棄を確認している。空き家を相続放棄しても次の所有者が決まるまでは、管理する責任があることを知らせて、適正な管理をお願いしている。

――空き家を登録する空き家バンク制度があるが、活用状況はどうか。――

A 空き家バンクの利用は制度発足以降13件。売買契約は8件である。

深谷市の正規・臨時・非常勤職員数の推移（※4/1の職員数）

職 種	2010年(H22)		2017年(H29)		2020年(R2)		備考
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	
一般事務職	613	74	593	89	593	105	
技能労務職	26	31	22	31	17	32	
保育士など	69	103	65	46	60	46	
給食調理員	11	0	4	0	4	0	委託
図書館員	10	29	7	29	6	29	
教員・講師	24	52	23	62	35	51	
その他	380	159	366	203	370	225	
合 計	1,133	448	1,080	460	1,085	488	

Q

桃鉄で深谷が厚遇されている事をSNSで発信しては

A

ふっかちゃんSNS等を活用して広く発信したい



つの だ よし のり 角 田 義 徳



映像はこちらから

Q 鉄道がメインのゲームなので、渋沢栄一翁が初登場した事を記念する懸垂幕（横断幕）を作成して深谷駅に掲げてはどうかだろうか。立派な駅舎と相まって話題になり、メディアやSNS等で拡散しPR効果大だと思ふ。

A 今後関連部署と協議し、栄一翁の功績をPRしていく中で、様々な手法のひとつとして有効であればという事で研究していきたい。

――新型コロナウイルス発生に伴うビジネス環境の変化に対処する――

Q 在宅勤務者の多様化により、企業の事務所は都心でなくても良いのではという機運が高まっている。企業にとつては家賃負担の大幅な軽減、本市にとつては住宅需要や消費の増大、空き家対策にも貢献可能だと思うのだが、企業誘致してはどうか。

A 企業誘致に際してはコスト削減



©さくまあきら ©Konami Digital Entertainment

――東芝跡地の有効利用について――

Q 該当地はどんな施設を建築できるのか。

A 深谷都市計画により「工業専用地域」に定められている。工場や倉庫などの工業系の用途のみ使用できる場所であり、住宅や老人ホーム、商業系の店舗や飲食店、学校、病院などは出来ない地域となっている。

Q

渋沢栄一の名称や精神を取り入れた政策の実施を

A

単発ではなく、継続して行っていく



おやじ 村川 徳 浩



映像はこちらから

Q 渋沢栄一の名称や精神・思想を取り入れた政策を市は継続的に行うべきではないか。

A 単発ではなく継続して行うことが大切と考えており、そのためにも多くの市民の皆様と一緒に取り組んでいきたい。

Q 近隣自治体にも積極的に情報の提供をして連携を図り、県北地域全体で盛り上げて行くべきだと考えるが、市の見解は。

A 8月24日に、管内の市町村と渋沢栄一翁に関する取り組みについて情報共有する場を設けている。

Q コミュニティバス「くるりん」を渋沢栄一にちなんだ名称に変更し、スポンサーを募るにより、公共交通機関として広域移動が可能となるよう利便性を高める工夫をしてはどうか。

A 定着した名称は、容易に変更できないが、車両の呼称や車体の一部



にイラストやコメントを描くなど、PR策を検討する。

Q 地域通貨戦略事業の基礎となる理念は栄一翁の道徳経済合一説と一致する。せつかく1万円札の顔になるのだから、これを好機ととらえ、その理念をより多くの人に知ってもらうために地域通貨「ネギー」を渋沢栄一にちなんだ名称に変更しPRすべきではないか。

A 名称変更は考えていないが、「論語とそばん」の精神を踏まえた戦略の概要をまとまり次第、示していきたい。

Q

スクールゾーンは、下校時も時間を設定するべき

A

路面表示等、安全施設の整備・修繕を行っていく



いま い けい いち ろう 今 井 慶 一 郎



映像はこちらから

Q 「見守り隊」の方々の活動は地域事情によって今後も差が出て来ると思う。公助・共助で下校時の児童の安全を守るために、住民の方々の御理解のもと、下校時間帯の規制をするべきだと思うが。

A 県北で下校時間帯の規制は実例がない。また、規制時間も長くなるだろうことから、対応は難しいと考えるが、ドライバーにも注意喚起ができる路面表示など、必要な安全施設の整備・修繕を行い、通学児童の安全確保に努めていく。

――保育士等への慰労的支援を求める――

Q コロナ禍の中、使命感を持って職に全うする保育士等に対して、市として慰労金等を支給してしかるべきと考えるが。

A 児童福祉施設に対しては、コロナ対策緊急包括支援交付金の補助や登園自粛等の措置があった場合でも



下校時にもスクールゾーンの設定を考えたい

――「かかりつけ医制度」の促進――

Q コロナ禍の中、本制度の促進と定着について問う。

A 若年層への定着は難しいが、今後も市民への啓発活動を続けていく。

保育士などの給料が保障されていること等から、慰労金等の支給は考えていないが、国や県の制度として慰労金の創設が行われるかを注視していく。